



<問い合わせ先>

北海道運輸局 国際観光課 笹野・志岐

TEL : 011-290-2723

令和 7 年 7 月 22 日

北海道運輸局

北海道における宿泊旅行統計調査の結果をまとめました。**(令和7年1-3月期(暫定値))**

- ・北海道運輸局では、観光庁が実施している「宿泊旅行統計調査」をもとに、定期的に北海道の延べ宿泊者数の実態等を発表しています。このたび、令和7年1-3月期(暫定値)の集計結果(全国との比較含む)がまとまりましたのでお知らせいたします。
- ・観光庁が実施した調査結果、全国の数値については、以下のURLからご覧下さい。

(https://www.mlit.go.jp/kankocho/tokei_hakusyo/shukuhakutokei.html) (観光庁HP)

【令和7年1-3月期(暫定値)の主な特徴(北海道)】**【延べ宿泊者数】**

1,161.5万人泊。令和6年同期(996.2万人泊)と比べ16.6%増、令和5年同期(883.1万人泊)と比べ31.5%増となり、令和6年同期・令和5年同期の値を上回った。
都道府県別順位では全国第3位(令和6年同期：第3位)。

【外国人延べ宿泊者数】

467.2万人泊。令和6年同期(318.3万人泊)と比べ46.8%増、令和5年同期(187.4万人泊)と比べ149.3%増となり、令和6年同期・令和5年同期の値を上回った。
都道府県別順位では全国第3位(令和6年同期：第3位)。

【国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数順位】

北海道は、第1位は中国(26.5%)、第2位は台湾(18.4%)、第3位は韓国(16.2%)。
北海道は全国に比べアジアの比率が高い(北海道：80.7%、全国：65.6%)。

※ 令和6年同期比及び令和5年同期比は、確定値との比較である。

令和7年1-3月期の集計結果 *全国の数値については観光庁HPをご覧ください。

1. 延べ宿泊者数

【延べ宿泊者数】

- ・北海道は、1,161.5万人泊。全国（1億5,231.9万人泊）の7.6%。

【延べ宿泊者数の前年等同期比較】

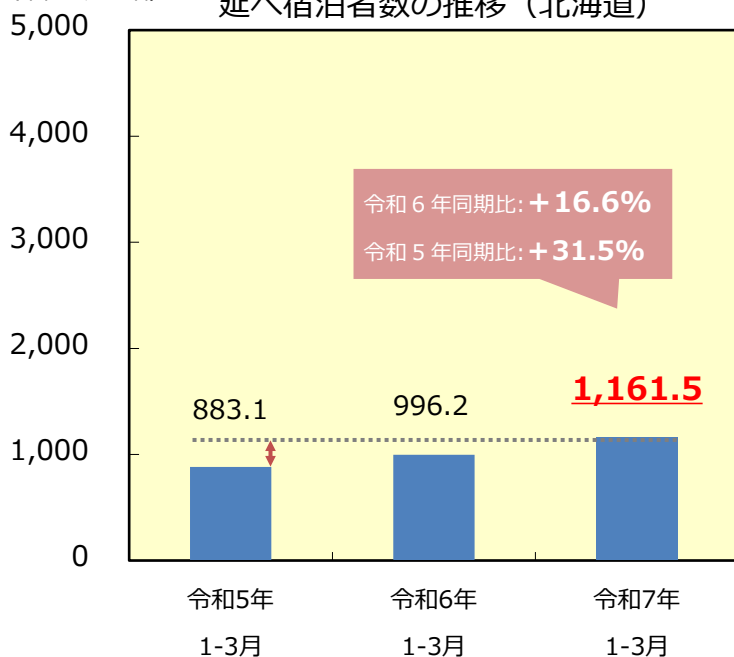
- ・北海道は令和6年同期（996.2万人泊）に比べ16.6%増、令和5年同期（883.1万人泊）に比べ31.5%増となった。一方、全国は令和6年同期（1億4,977.7万人泊）に比べ1.7%増、令和5年同期（1億3,752.4万人泊）に比べ10.8%増。全国に比べ、北海道の伸び率が令和6年同期及び令和5年同期の値を上回った。

【都道府県別延べ宿泊者数】

- ・第1位は東京都、第2位は大阪府、第3位は北海道（令和6年同期：第3位）。

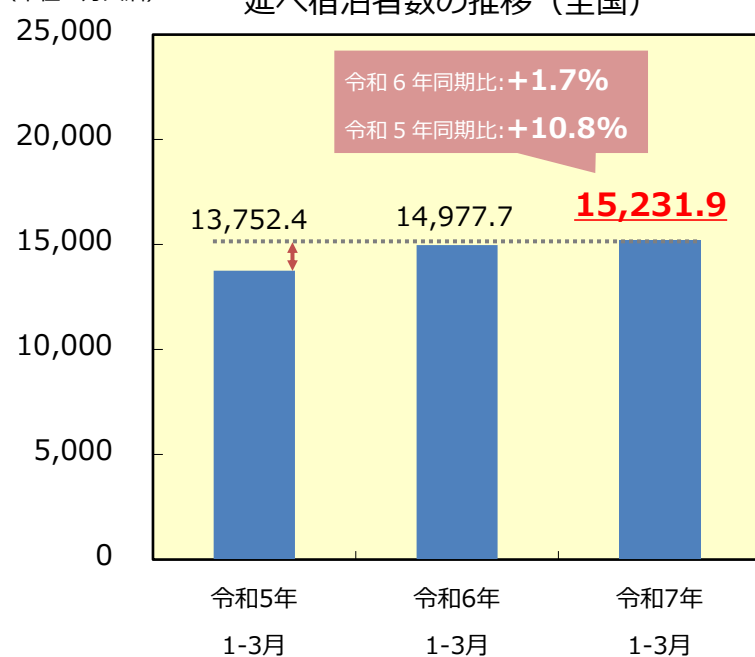
(単位：万人泊)

延べ宿泊者数の推移（北海道）



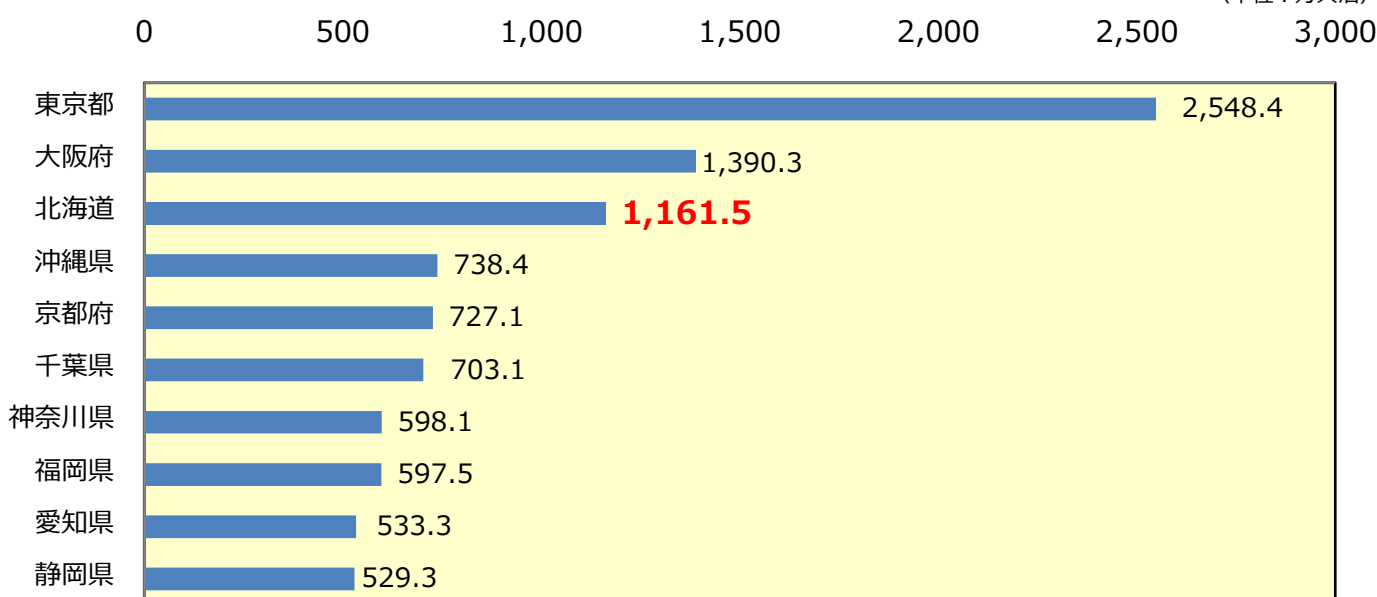
(単位：万人泊)

延べ宿泊者数の推移（全国）



都道府県別延べ宿泊者数（上位10位）

(単位：万人泊)



2. 外国人延べ宿泊者数

【外国人延べ宿泊者数】

- ・北海道は、467.2万人泊。全国（4,372.5万人泊）の10.7%。

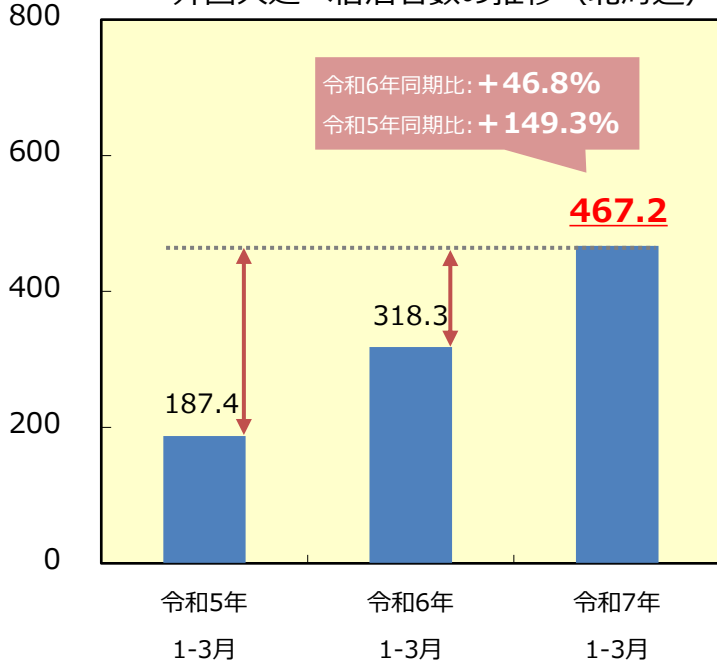
【外国人延べ宿泊者数の前年等比較】

- ・北海道は令和6年同期（318.3万人泊）に比べ46.8%増、令和5年同期（187.4万人泊）に比べ149.3%増となった。一方、全国は令和6年同期（3,595.0万人泊）に比べ21.6%増、令和5年同期（2,048.3万人泊）に比べ113.5%増。全国に比べ、北海道の伸び率が令和6年同期及び令和5年同期の値を上回った。

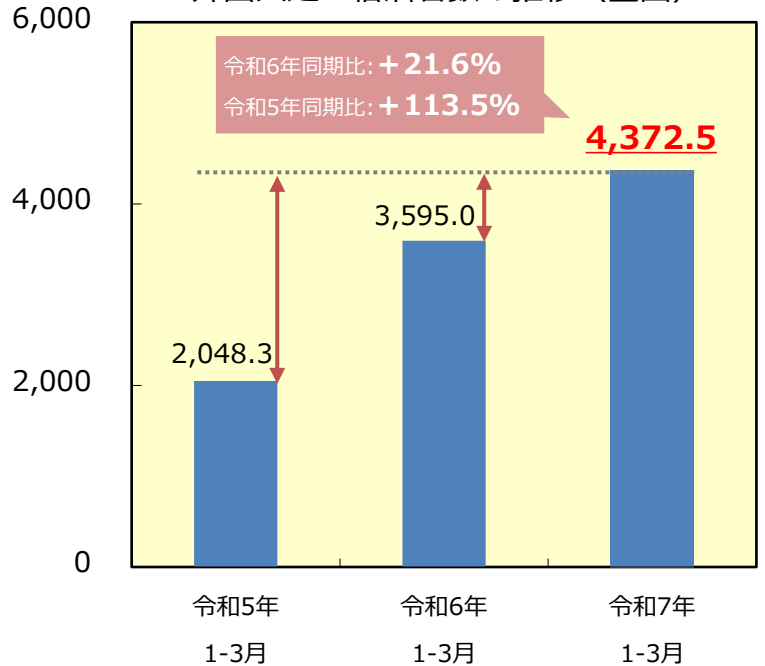
【都道府県別外国人延べ宿泊者数】

- ・第1位は東京都、第2位は大阪府、第3位は北海道（令和6年同期：第3位）。

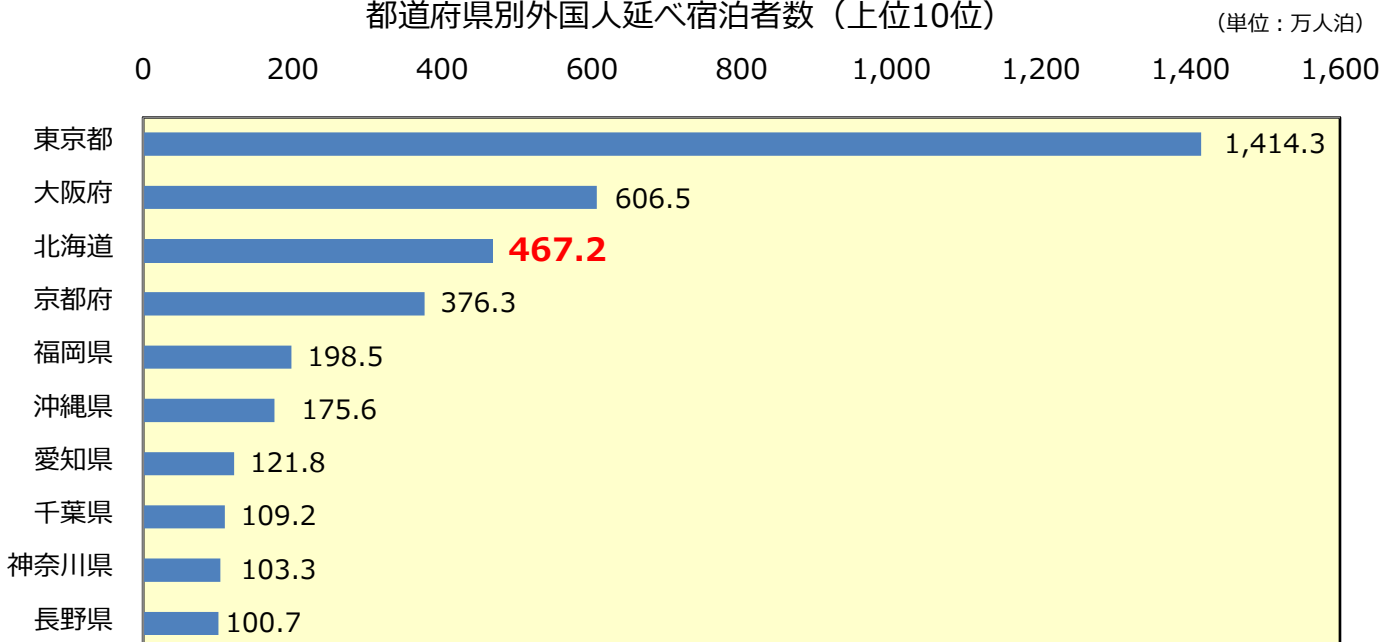
(単位：万人泊) 外国人延べ宿泊者数の推移（北海道）



(単位：万人泊) 外国人延べ宿泊者数の推移（全国）



都道府県別外国人延べ宿泊者数（上位10位）

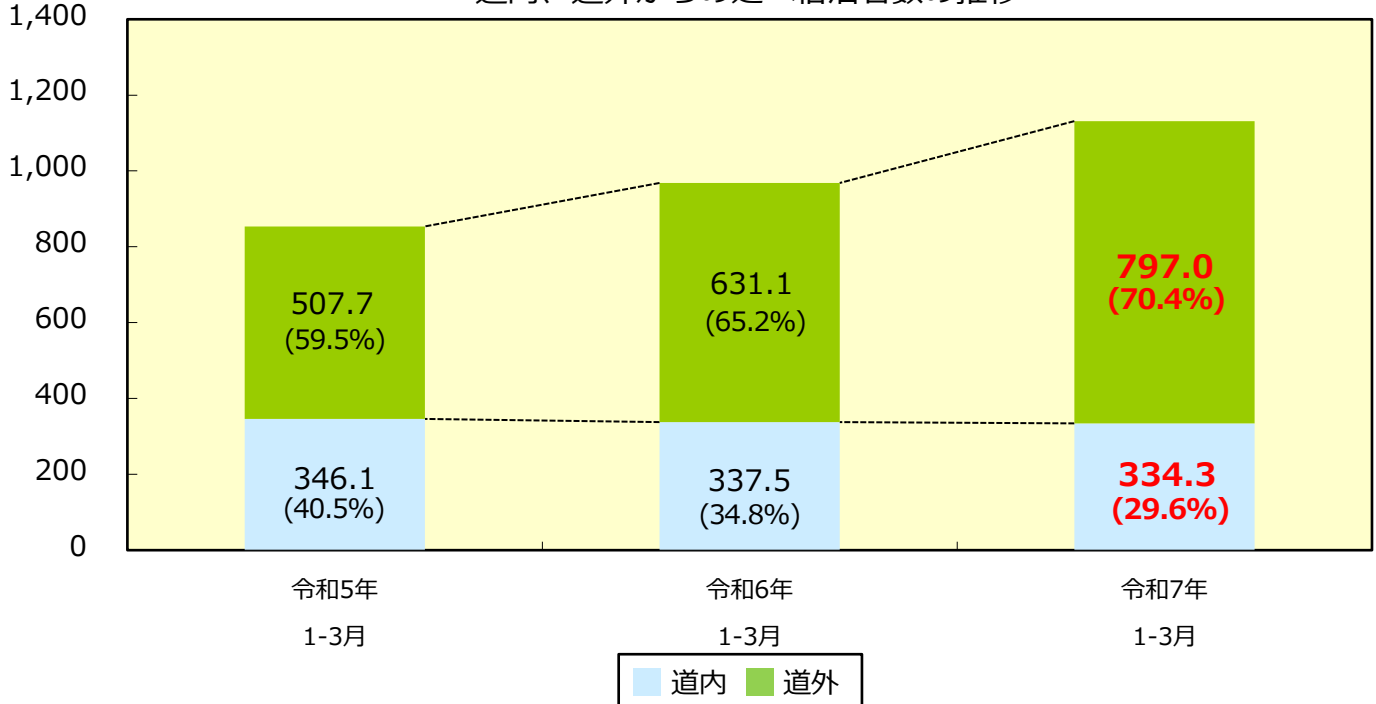


3. 道内・道外からの延べ宿泊者数

- ・道内からの延べ宿泊者数は334.3万人泊、道外（外国人を含む）からの延べ宿泊者数は797.0万人泊。
道内及び道外の延べ宿泊者数の割合は、道内29.6%、道外70.4%となっている。
- ・道内は令和6年同期（337.5万人泊）に比べ0.9%減、令和5年同期（346.1万人泊）に比べ3.4%減となった。
- ・道外は令和6年同期（631.1万人泊）に比べ26.3%増、令和5年同期（507.7万人泊）に比べ57.0%増となった。

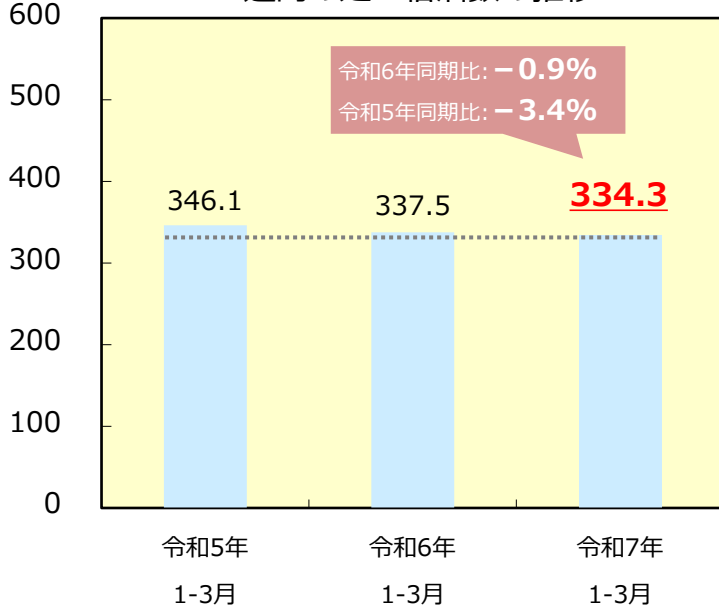
(単位：万人泊)

道内、道外からの延べ宿泊者数の推移



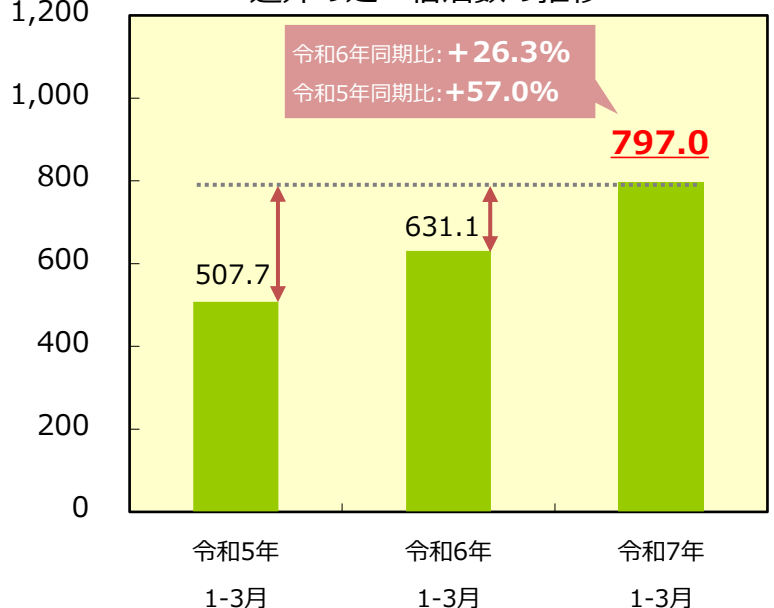
(単位：万人泊)

道内の延べ宿泊数の推移



(単位：万人泊)

道外の延べ宿泊数の推移

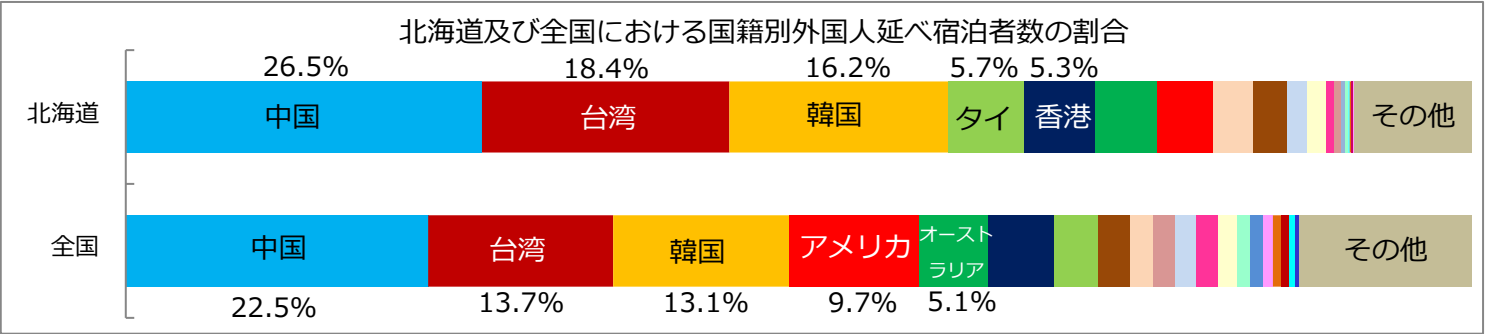


注：グラフの数値は居住地不詳者を除いているため、延べ宿泊者数の合計の数値と一致しない。

4. 北海道における国籍別延べ宿泊者数

- ・北海道における令和7年1～3月の国籍（出身地）別延べ宿泊者数は 3,980,590 人泊となり、第1位は中国（26.5%）、第2位は台湾（18.4%）、第3位は韓国（16.2%）となった。
- ・北海道は全国に比べアジアの比率が高い（北海道：80.7%、全国：65.6%）。

順位	国籍	北海道		全国	北海道	北海道
		(人泊)	シェア	シェア	令和6年同期比	令和5年同期比
1	中国	1,053,370	26.5%	22.5%	136.1%	1306.6%
2	台湾	732,020	18.4%	13.7%	27.8%	113.7%
3	韓国	646,320	16.2%	13.1%	10.5%	64.9%
4	タイ	224,920	5.7%	3.3%	-2.7%	63.6%
5	香港	211,480	5.3%	4.9%	12.6%	27.2%
6	オーストラリア	183,580	4.6%	5.1%	46.4%	107.2%
7	アメリカ	163,860	4.1%	9.7%	38.1%	121.4%
8	マレーシア	119,520	3.0%	1.7%	56.9%	152.1%
9	シンガポール	101,300	2.5%	2.4%	26.2%	56.9%
10	インドネシア	57,520	1.4%	1.6%	41.0%	173.9%
11	フィリピン	54,390	1.4%	1.4%	37.7%	196.6%
12	カナダ	26,550	0.7%	1.6%	73.4%	248.4%
13	イギリス	21,030	0.5%	1.6%	33.5%	113.3%
14	フランス	9,880	0.2%	1.0%	4.7%	131.4%
15	ドイツ	9,420	0.2%	1.0%	32.3%	132.6%
16	ベトナム	4,980	0.1%	0.4%	44.8%	156.7%
17	インド	4,770	0.1%	0.6%	59.0%	196.3%
18	イタリア	3,750	0.1%	0.7%	52.4%	182.0%
19	スペイン	2,680	0.1%	0.6%	69.6%	179.2%
20	ロシア	1,860	0.0%	0.3%	23.2%	162.0%
	その他	231,830	5.8%	9.0%	45.9%	147.9%
	国籍不詳	115,560	2.9%	3.8%	23.8%	23.0%
合計		3,980,590	100%	100%	41.4%	141.7%



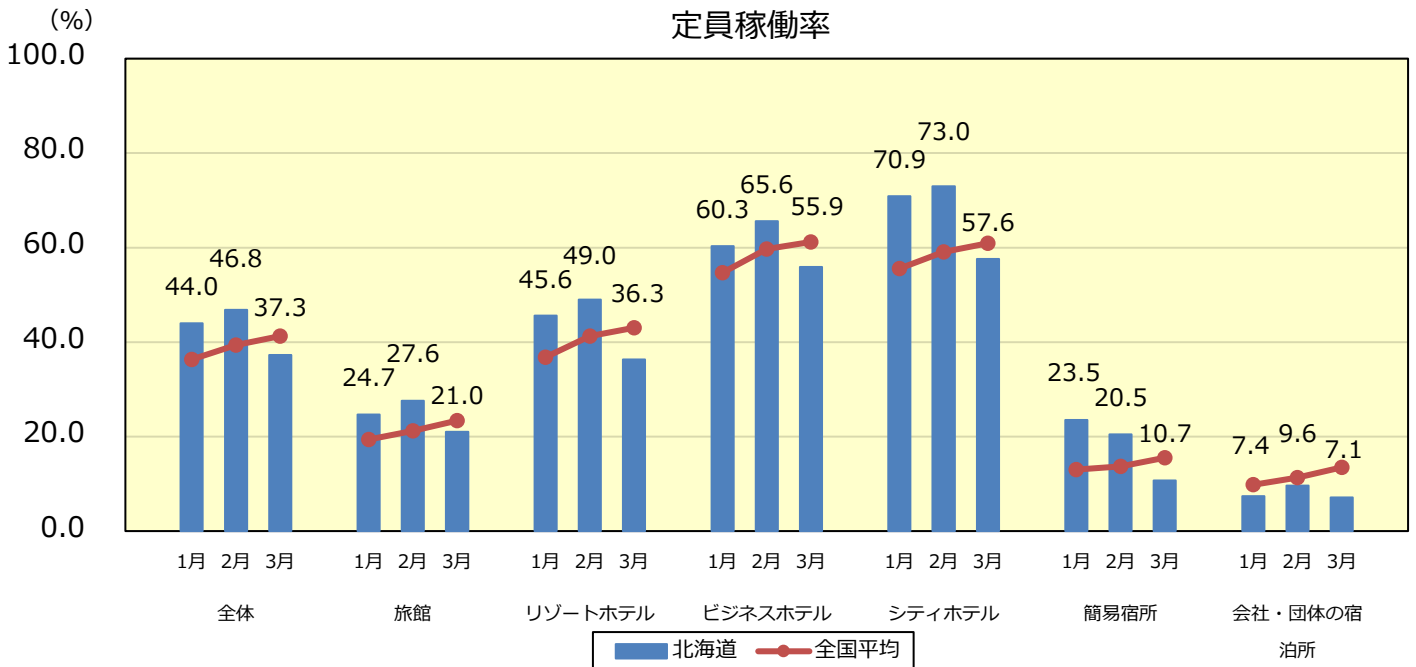
※国籍別に関する項目については、従業者数10人以上の施設に対する調査から集計しているため、国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数は外国人延べ宿泊者数の数値と一致しない。

※北海道及び全国における国籍別外国人延べ宿泊者数の割合のその他は国籍不詳も含まれている。

5. 定員稼働率及び客室稼働率

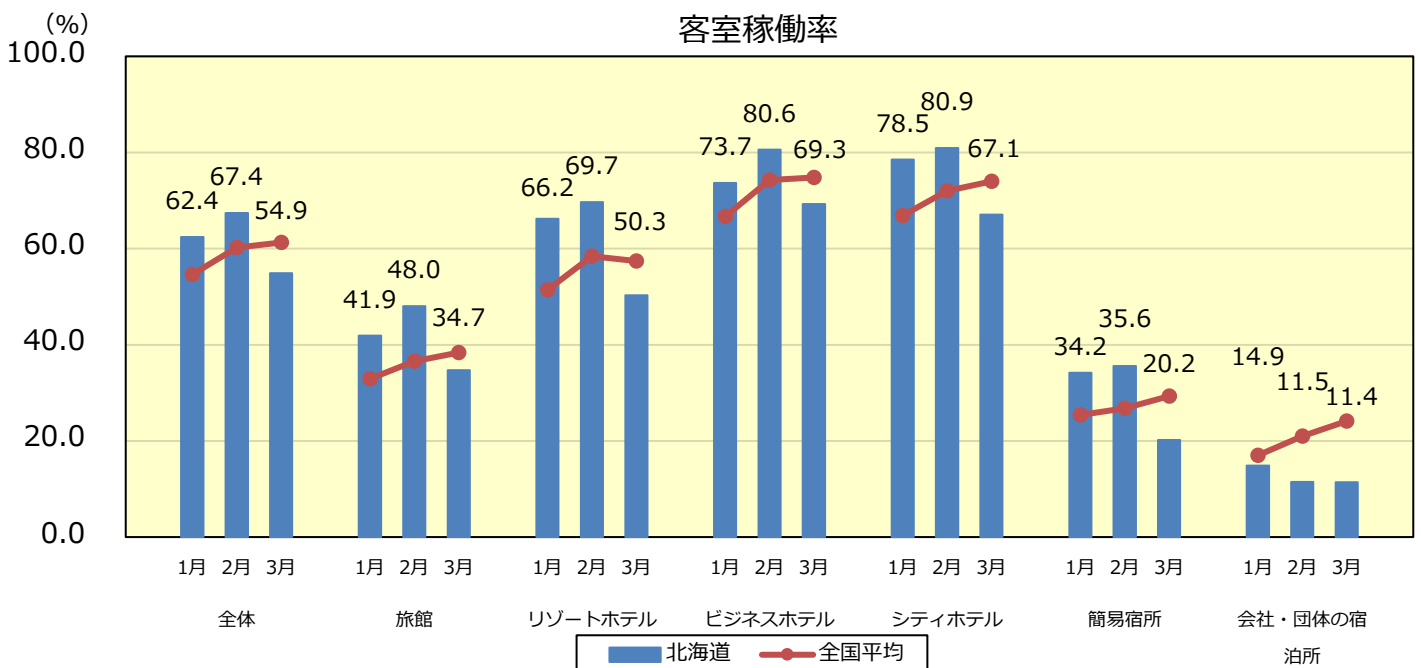
【定員稼働率】

- ・北海道の定員稼働率（全体）は、1月、2月において全国平均を上回った。
- ・施設タイプ別では、1月、2月において会社・団体の宿泊所を除く全ての施設タイプにおいて全国平均を上回った。3月は全ての施設タイプにおいて全国平均を下回った。



【客室稼働率】

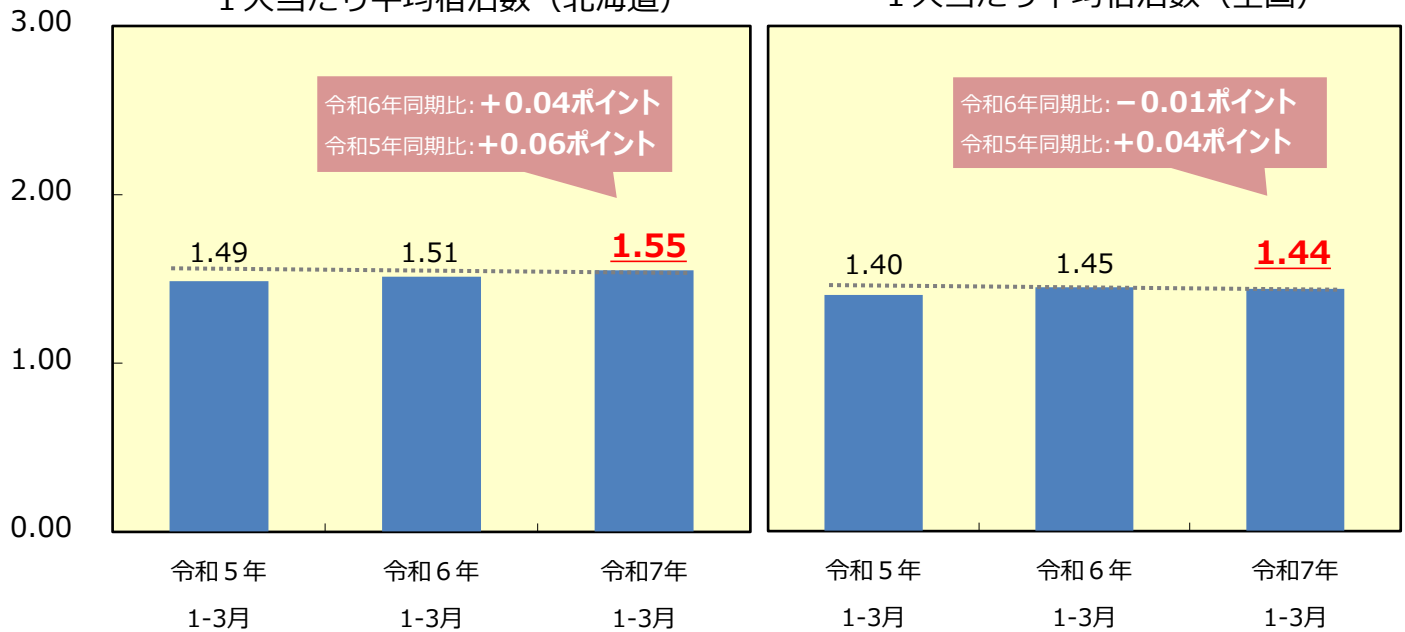
- ・北海道の客室稼働率（全体）は、1月、2月において全国平均を上回った。
- ・施設タイプ別では、1月、2月において会社・団体の宿泊所を除く全ての施設タイプにおいて全国平均を上回った。3月は全ての施設タイプにおいて全国平均を下回った。



6. 宿泊施設における1人当たり平均宿泊数

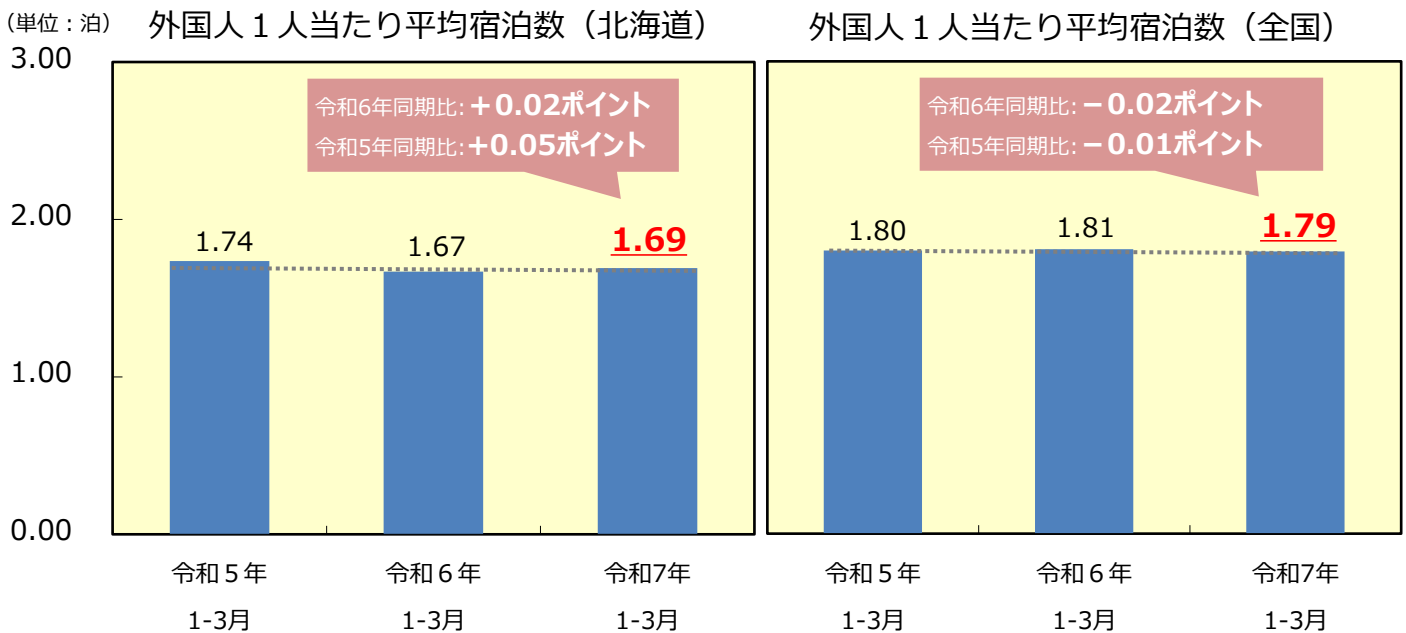
- ・宿泊施設における1人当たり平均宿泊数は、北海道が1.55泊、全国平均が1.44泊となった。
- ・北海道は令和6年同期（1.51泊）に比べ0.04ポイント増、令和5年同期（1.49泊）に比べ0.06ポイント増となった。
- ・全国は令和6年同期（1.45泊）に比べ0.01ポイント減、令和5年同期（1.40泊）に比べ0.04ポイント増となった。

(単位：泊)



- ・宿泊施設における外国人1人当たり平均宿泊数は、北海道が1.69泊、全国平均が1.79泊となった。
- ・北海道は令和6年同期（1.67泊）に比べ0.02ポイント増、令和5年同期（1.74泊）に比べ0.05ポイント減となった。
- ・全国は令和6年同期（1.81泊）に比べ0.02ポイント減、令和5年同期（1.80泊）に比べ0.01ポイント減となった。

(単位：泊)



宿泊旅行統計調査の活用における留意点

平成22年第2四半期(4～6月調査)から、従業者数10人未満の施設も調査対象となりました。

調査結果をご活用の際はご注意ください。

● 遡及推計(確定値)とは

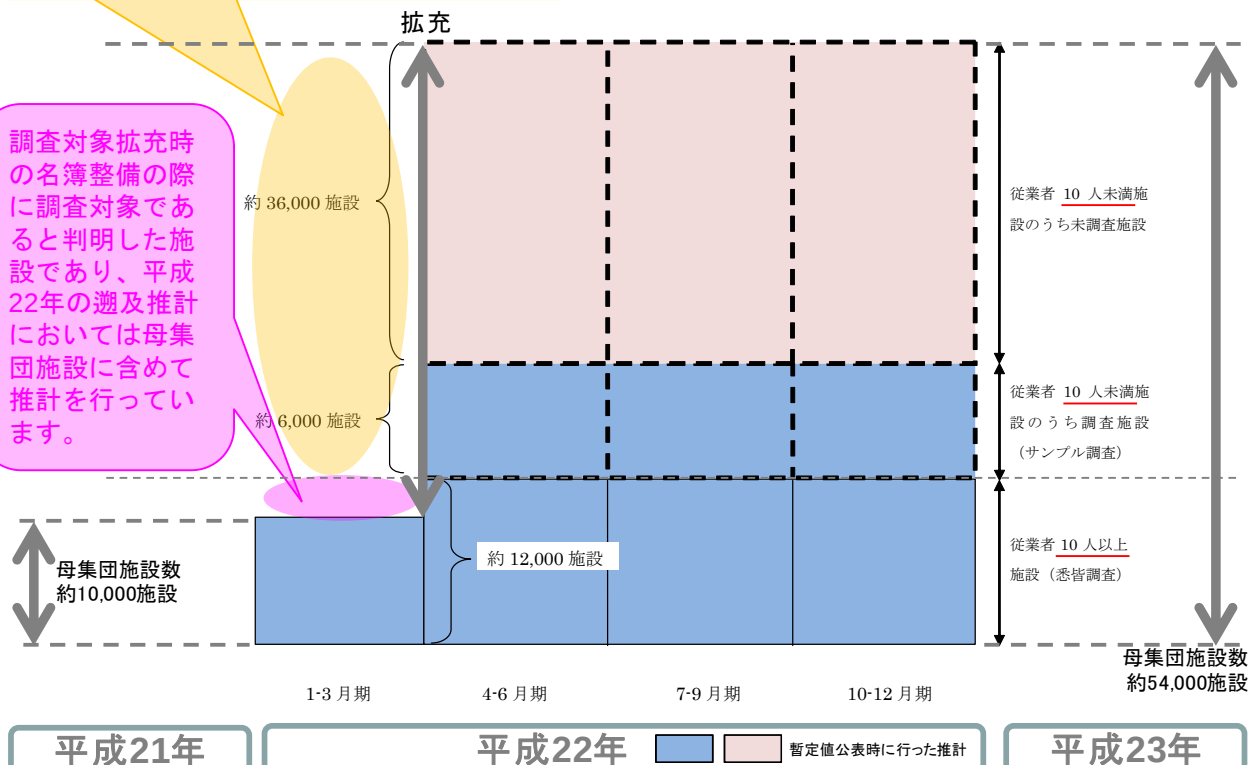
・1月1日現在の施設数を母集団施設数として1年間固定させ推計を行う四半期毎公表の暫定値とは違い、月毎の開業・廃業等を反映させた月毎の母集団施設数を基に推計を行ったものが遡及推計(確定値)です。

● 平成22年遡及推計の特徴

・平成22年第2四半期調査より調査対象を拡充しており、基本とする母集団施設数は拡充後の第2四半期のものです。また、第1四半期には調査対象外であった従業者数10人未満の宿泊施設等についての数値は一部参考値以外は推計を行っておりません。経年比較等する場合には、従業者区分等にご注意下さい。

遡及推計概要図

遡及推計においても推計を行っていません。



調査対象拡充の概要

1. 平成22年第1四半期以前の調査

(1) 調査対象施設: 平成16年度事業所・企業データベース(総務省)を基に、国土交通省観光庁で補正を加えた名簿から抽出した、全国に従業者数10人以上のホテル、旅館、簡易宿所の宿泊施設

(2) 集計結果: 全国に従業者数10人以上の宿泊施設における延べ宿泊者数等の推計値

2. 平成22年第2四半期以降の調査

(1) 調査対象施設: 統計法第27条に規定する事業所母集団データベース(総務省)を基に、国土交通省観光庁で補正を加えた名簿から抽出した、全国のホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などの宿泊施設

調査施設については、従業者数に応じて以下のとおり

- 従業者数10人以上の事業所 : 全数(悉皆)調査
- 従業者数5人～9人の事業所 : 1/3を無作為に抽出してサンプル調査
- 従業者数0人～4人の事業所 : 1/9を無作為に抽出してサンプル調査

(2) 集計結果: 全国のすべての宿泊施設における延べ宿泊者数等の推計値